

IEEJ Industry Applications Society News Letter

電気学会産業応用部門ニュースレター 2007年7月号

<平成19年度産業応用部門事業計画の要点>

1. 活動方針（今年度の重点施策等）

平成19年度は、2年前からスタートした、研究調査運営委員会、論文委員会、編修広報委員会の3本立てのD部門活動の新体制をさらに活性化させる。その結果、部門論文誌をさらに充実させることを目指すと同時に、国際的視野に立ち、産業構造の変化をふまえた新分野を取り込み、会員の満足度を向上させるために、以下に示す具体的な重点施策を行う。

- (1) 論文誌関連：連携強化を図った論文委員会と技術委員会の体制およびエディタ制の充実や電子投稿システム、電子査読システムの定着化により、研究会や国際会議からの論文投稿を促進し、論文誌の充実を図る。また、論文誌の電子化に向けた具体的な検討、SCI登録実現に向けた取り組みを進める。IEEEなどとの差別化を図り、さらに、英文論文への投稿料補助の検討、特集号での解説論文、電子ジャーナルのあり方、論文処理手続きに関して検討する。（部門誌総ページ発行予定：1872ページ）
- (2) 広報関係：D部門のホームページの充実を図る。ニュースレターの発行の継続化、英文ホームページを検討し、さらに、論文の書き方などの解説を企画し、さらなる情報発信を行う。（ニュースレター総ページ発行予定：105ページ）
- (3) 国際化関連：新たに国際化推進担当役員を選出し、本部の国際活動委員会と連携し国際化推進のための各種施策（論文投稿料補助など）および、共通英文誌の部門担当分をレビューペーパー主体とするなどの検討を行う。また、部門主催の国際会議（IPECなど）の国際協調を検討する。
- (4) 研究活動関連：会員の満足度向上と部門活動活性化のため、従来D部門としてカバーしきれていない技術分野について調査・研究活動を強化するとともに、新規テーマによる論文誌特集号、シンポジウムの企画を検討する。技術報告書発行作業の迅速化、効率化を図る。（技術報告発行部数予定：16点、研究会開催数予定：50回、研究会論文総数予定：840件、調査専門委員会新設総数予定：24）
- (5) 講演会、講習会：講習会（特に産業応用フォーラムの推進）の充実をはかり、技術の普及を通して会員へのサービスの充実向上を目指す。さらに、理科教室、見学会を開催し、啓蒙活動の裾野を広げる。フォーラム開催予定：9回
- (6) 部門会計関連：部門収入予定 約105,000千円。部門支出予定：約104,000千円、繰越金予定：約1,000千円

2. 部門大会・国際会議の開催予定

- (1) 平成19年度部門大会：会期/平成19年8月20日(月)~22日(水)、会場/大阪工業大学(大阪市)、内容/一般セッション、ヤングエンジニアポスターコンペティション(YPC)、オーガナイズドセッション、シンポジウム、特別講演、懇親会、子供理科教室、テクニカルツアーなど

[ホームページ <http://www.oit.ac.jp/www-ee/jiasc07/>] 総論文数(予定)530件、参加者数(予定)：1,000名

- (2) 平成20年度部門大会：高知市文化プラザで開催予定(計画中)

(3) 部門主催の国際会議：

(A)2007/4/2-5, The 4th Power Electronics Conference(PCC-Nagoya2007), Nagoya, Japan

(B)2007/10/29-11/1, 10th International Conference on Electrical Machines and Systems (ICEMS 2007) Seoul, Korea.

3. 部門会員数微増傾向

平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
6,386名	6,301名	6,410名(H19年2月末)	6,600名(平成20年3月末目標)

平成19年度は、新体制の定着化を図るとともに、活動分野の拡大やスピーディーな査読システムの構築など、会員にとって魅力ある部門となるよう努めてまいりますので、活力ある学会を盛り上げていただきますよう、ご協力よろしくお願いたします。

産業応用部門役員会 総務企画担当